

☆「日本の文化について」(山田恵生)

400色以上を使い分ける日本人の感性—日本の豊かな自然とそこで暮らす人々の感性は、400を超える和色のバリエーションを生み出した。その中の一つであるのが、『青海波』である。

この青海波は、同心円が扇状に重なれ末広がりになる縁起の良い紋。そして、この青海波は、水の意味を持っているが、その意味をもったのは、鎌倉時代に作られた古瀬戸瓶子が始めた。

これは、平面の模様だが、『七宝』というのは、同じ大きさの円を、4分の1ずつ重ね描かれる連続紋様。その円形は円満・調和を表し、中心に花模様を入れた花七宝や、円が重なった部分に小さな円を配置した星七宝などが作られている。僕は、この文化プログラムに参加して思ったことは、日本人の芸術差に関心を抱いたのでもっと昔の文化を知りたい。

